

2023年度 第9回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2023年12月21日（木）

場 所 豊岡市役所本庁舎2階 大会議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時00分

閉会時間 午前11時15分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	升田 敏行

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	教育総務課参事兼学校再編・施設整備室長	野崎 律男
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	吉本 努
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

升田 敏行 委員

第2 前回の会議録の承認

2023年11月27日（月）開催 第8回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第32号 竹野地域に整備する義務教育学校の学校名（案）について
- 議案第33号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について
- 報告第22号 寄附物件の受納について
- 報告第23号 令和5年12月市議会答弁概要について

## 第5 教育委員会事務局の報告

### 1 教育総務課

- (1) とよおか教育プラン2024年度実践計画策定の進め方について

### 2 学校教育課

- (1) 2023年度卒業（園）式・2024年度入学（園）式等日程について
- (2) 生徒指導について

### 3 幼児育成課

- (1) 2024年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

## 第6 こども未来部の報告

### 1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

## 第7 委員活動報告

## 第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午前10時00分

---

(教育長)

ただ今から、2023年度第9回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、升田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

### 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。11月27日に開催しました第8回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございません

でしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

### 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回11月27日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

#### 《教育長の報告概要》

12月18日に竹野義務教育学校の教育課程ワークショップを実施しました。ワークショップ開催に向けて、教育委員会内で3回打合せをしました。義務教育学校は、その制度だけでなく、そこで何をするのか、教育内容が一番の肝になりますので、たくさんの時間をかけて考えていきたいと思います。

ワークショップには、就学前の保護者や現在学校に通う子どもたちの保護者22人に参加いただきました。実施した内容は次のとおりです。

最初に、「昔の子どもと今の子どもは、どう違うのか」についてのアイスブレイクを行いました。そのあと「子どもたちに義務教育学校でどのような力を付けさせたいのか」について議論しました。自分の生育歴、受けてきた教育、環境や育ち方、社会の状況等によって、皆さんそれぞれの思いがあり、盛り上がりました。

次に、「子どもたちに資質や能力をつけるために、どのような教育が望まれるのか」について話し合い、たくさんの意見が出ました。例えば、「英語に取り組んでほしい」「国語の読解力向上に取り組んでほしい」「情報教育に取り組んでほしい」「コミュニケーション能力をつけるために、今取り組んでいる授業をもっと増やしてほしい」「金銭教育に取り組んでほしい」「芸術について、もっと取り組んでほしい」「畑仕事をして、農作業による勤労精神を学ぶような授業ができればよい」「遠泳を復活させてほしい」「ふるさと教育や伝統的な行事を授業の中に取り入れてほしい」などの意見がありました。

次回、2回目の教育課程ワークショップでは、兵庫教育大学大学院の安藤准教授に来ていただき、指導を受けながら進めていきます。教育課程はカリキュラムですので、少しずつ前に進めていき、皆の合意の下に作り上げるスタイルにしたいと考えています。先日のワークショップは皆、本当に満足した顔で帰っていかれたので、その一歩としてはよいワークショップになったと思います。コーディネートした職員もしっかり準備し、取り組んでおり、本当に皆で作ったワークショップだったと思います。

小中学校では先生たちが子どもたちや状況を見て、学習指導要領から外れないように、先生たちだけで教育課程を作っているのが現状です。「子どもたちにどのような力を付けたいと保護者は思っているのか」「どのような教育に取り組んでほしいと思っているのか」など、これら有

形・無形なこと、可能・不可能なことはあるけれども、1つでも2つでも取り入れると、皆で参画した教育課程、学校づくりになるのではないか、そのような新たな発見がありました。一昨日の校園長会でもそのことを話してきました。

皆で参画する教育課程、学校づくりに取り組んでいくことは、なかなか難しい問題ですが、少しずつでも取り組むその精神は、コミュニティスクールと同じだと思いました。そうした学校が1つでも2つでもできれば、学校や子どもを皆で育てる機運が上がるのではないかと思います。義務教育学校をどのようにしていくのかのワークショップを足掛かりに、何か豊岡の教育にプラスにすることができたような気がします。

#### 【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第32号 竹野地域に整備する義務教育学校の学校名(案)について、教育総務課参事兼学校再編・施設整備室長の説明をお願いします。

#### ○ 議案第32号 竹野地域に整備する義務教育学校の学校名(案)について

《教育総務課参事の説明概要》

竹野地域に整備する義務教育学校の学校名(案)について、資料に基づき説明する。

学校名の選定の経緯について、8月30日に開催した第3回竹野地域小中一貫校開設準備委員会では、竹野小学校、竹野中学校の児童生徒から校名を募集すること、応募のあった中から開設準備委員会委員の投票で複数案に絞ることを決めた。そして、10月23日から10月31日まで募集し、43人から合計62点の応募があった。校名募集結果については、前回の教育委員会会議で説明している。

12月4日に第4回開設準備委員会を開催し、児童生徒から応募のあった中から、校名候補を3つに絞り込んだ。校名候補は、(1)豊岡市立竹野学園、(2)豊岡市立竹野小中学校、(3)豊岡市立竹野なぎさ学園である。

(1)豊岡市立竹野学園について、賛成の意見として「小学校・中学校の枠にとらわれない新しい学校というイメージ」や「今後、6-3制以外になって違和感がない」があり、懸念される意見として「竹野地区の高齢者学級が同じ名前で、混同するのではないか」がある。

(2)豊岡市立竹野小中学校について、賛成の意見として「なじみやすく言いやすい。他者にも伝えやすい」や「今までの竹野小学校、中学校のなごりが残せる」があり、懸念される意見として「部活の大会や発表の時、中学校か小学校かわからないと言われそう」がある。

(3)豊岡市立竹野なぎさ学園について、賛成の意見として「竹野といえば、海。そのイメージとして“なぎさ”を入れた」「竹野地区の高齢者学級と区分できる」があり、懸念される意見として「中竹野・竹野南の住民は、どのようにとらえるだろうか」がある。

この3つの中から、教育委員会会議で意見交換した上で、校名(仮称)1つを決定していただきたい。

学校名についての今後のスケジュールについて、会議で決定いただく校名については、仮称を付記し、当面の間、使用する。開設準備委員会での協議が大方まとまった段階で、2024年9月または12月の市議会に諮り、豊岡市立小学校及び中学校の設置に関する条例の一部改正をすることにより、校名を正式決定したいと考えている。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

表記も漢字で「竹野学園」ということでしょうか。

(教育総務課参事)

ひらがな、漢字の表記についても確認させていただいた上で、校名案は漢字表記で「竹野学園」としています。

(佐伯委員)

分かりました。

(飯田委員)

竹野地域小中一貫校開設準備委員会の委員としての案はありますでしょうか。

(教育総務課参事)

竹野地域小中一貫校開設準備委員会委員の皆さんは、子どもたちが応募してきた中から選ぶこととし、校名案を選定していただきました。それが校名案3つになります。優先順位はなく、数的には竹野学園と竹野小中学校が同数でした。ただ、その後、竹野学園のほうがよいと意見を変えられた方がおられましたので、最終的には「竹野学園」がやや数的には多くなっています。

開設準備委員会委員も、懸念される意見にある「竹野地区の高齢者学級が同じ名前で、混同するのではないか」について心配されており、もし「竹野学園」を使用するのであれば、事前に竹野地区コミュニティと協議しておいたほうがよいのではないかと助言がありましたので、竹野地区コミュニティとはすでに協議させていただいています。

竹野地区コミュニティからは「現在、地区コミュニティで事業を実施しているが、豊岡市の小中一貫校であれば『豊岡市立竹野学園』の名称になるし、名称のすみ分けはできる。子どもたちが選び、教育委員会で『竹野学園』に決定されるならば、使ってもらうことには全然差し支えない」との返事をいただいています。

(升田委員)

印象として、私は「竹野学園」がよいのかなと思っています。義務教育学校でいえば、他市町にも『学園』の名称を使っている学校はありますし、「竹野学園」だと義務教育学校の雰囲気が出てくるのかなと思います。受け入れやすいと思います。

(佐伯委員)

私も升田委員と同じ意見です。「竹野学園」がすっきりしていて、よいと思います。「竹野小中学校」であれば、部活の大会に出たときなど、小学校なのか、中学校なのか分かりにくいこともあるかと思いますが、「竹野学園」がよいかなと思います。

(飯田委員)

私は「竹野学園」になじみやすく、親しみやすい感じを受けました。高齢者学級と同じ名称ですが、それとは区分できる気がします。

(向井委員)

私も「竹野学園」の校名はすっきりしていますし、子どもたちがよいと思うのであればよいと思います。

ただ、地域の人たちは、防災行政無線の「今年度の竹野学園の開校は～」のような放送を聞き慣れており、高齢者学級のイメージが定着しています。地域の人にとっては、なじみのある名称なので、少し気掛かりですが、子どもたちはそうした状況を知らずに選んでいるので、「竹野学園」でよいと思います。

(教育長)

名称ですので、使用していけば慣れると思いますが、教育委員の皆さんが話されたように、子どもにとってなじみやすいことが第一です。

「竹野学園」は、竹野地区の住民は従来から聞き慣れている名称になるので、当初は混乱するかもしれませんが、「竹野小中学校」や「竹野なぎさ学園」は、それぞれ懸念される意見にあるようになかなか解決しにくい問題がありますので、校名は「竹野学園」で落ち着くのがよいかなと思います。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第 32 号 竹野地域に整備する義務教育学校の学校名（案）について、豊岡市立竹野学園に決定してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、竹野地域に整備する義務教育学校の学校名について、豊岡市立竹野学園に決定します。

続きまして、議案第 33 号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、学校教育課長の説明をお願いします。

○ 議案第33号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について

《学校教育課長の説明概要》

豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、資料に基づき説明する。

改正内容は、学期について、第1学期の終期を8月27日から8月31日とし、第2学期の始期を8月28日から9月1日とするものである。

そして、夏季休業日について、終期を8月27日から8月31日とするものである。

この規則は公布の日から施行する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

改正の理由をもう少し詳しく教えてください。

(学校教育課長)

令和2年度に、小学校の学習内容を定める学習指導要領が改定され、授業時数が増えました。小学3年生以降で年間20時間増えました。理由としては、英語・外国語学習の外国語科が教科として入ってくるためです。

したがって、授業時間を確保する必要があることが1つ目で、2つ目にはエアコンの設備も整ってきているので、夏休みを短縮しても問題ないことなどの理由により、4日間の短縮に踏み切りました。

他市町の様子を見ると、夏休みを短縮する動きをしている学校は少なく、県内では72%が9月1日から2学期開始であり、豊岡市では短縮したままの状況でした。そうした状況の中、コロナもあり、実際に4日間短縮し8月28日から2学期を開始したことは、今年度が初めてでした。

さらに、暑さが年々進み、学校の状況を見ると、子どもたちは冷房のある教室にずっといる状態で長い授業時間も取りにくいこと、外で遊ぶのも制限されることが起こっています。

また、オンラインが進みましたので、臨時休業等があったとしても、授業時間はオンライン授業等で対応でき、授業時間も確保できる状況があります。これらの理由から、2学期開始を9月1日に戻しても特に問題ないと考えます。

今年度、国からも授業時数を取りすぎないこと、授業時数が多いところは教育委員会から指導することの通知がありました。学校としては十分に授業時間を確保できていますので、2学期開始を9月1日に戻すことを来年度から実施させていただきたいと思います。

(飯田委員)

現在は、インフルエンザやコロナ等で、以前と比べて学校閉鎖や学級閉鎖が随分増えている気がします。夏休みを増やすことによって、授業日数の確保は可能でしょうか。

(学校教育課長)

現状でも余裕はありますし、さらにこれからオンラインについても環境整備を進めていきますので、授業時間は確保できると考えています。

(教育長)

各校にどれぐらい余剰時間があるのか調査しましたが、授業時間数を十分確保できますし、さきほど学校教育課長が述べた理由のとおりであります。また、コロナの間に学校は行事をかなり精選しました。体育祭・運動会について午前中だけの実施にするなど、授業時間を確保できるようになりました。

また、神戸市では、9月1日から2学期開始だけれども、学校の管理運営に関する規則を改正せずに、夏休み中に子どもたちに学校に来させて、約3日間授業をしています。そうした例もあります。ただ、そうしたことをしなくても、授業時間数は確保できる状況です。よって、総合的な観点から、来年度から2学期開始を9月1日に戻したいと考えます。

また、市PTA連合会にも相談し、「9月1日に戻してもよいのではないか」との返事を聞いています。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第33号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第33号 豊岡市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事(報告)に移ります。報告第22号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

## ○ 報告第22号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体3件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第23号 令和5年12月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

## ○ 報告第23号 令和5年12月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和5年12月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

小規模特認校制度を導入する八代小学校への申込者がなかったことについて、校長先生と面談した家庭が2家庭あったとのことですが、利用に至らなかった理由を教えてくださいませんか。

(教育総務課参事)

理由としては、基本的には、教育におけるニーズが合わなかったことがあります。見学に来られた家庭は小規模校で、1対1に近い形で見ていただけるという希望を持っておられたのですが、そこまでは難しいことがあり、利用に至らなかったと聞いています。

面談は対象児童3人、2家庭で、そのうち児童2人は兄弟と聞いています。学校見学をされ、校長面談もされた結果、利用することに踏ん切りがつかなかった感じです。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(升田委員)

豊岡小学校の分散進学について、詳しく教えてください。

(教育総務課参事)

現在、豊岡小学校は、行政区により豊岡北中学校と豊岡南中学校に分かれて進学しています。子どもの人数が少なくなっている中で分散進学する必要があるのかどうか、また仲のよい友だちと中学校に進学する際に分かれてしまうため、PTAから学校再編の協議の中で分散進学が解消できないかと話がありました。

教育委員会としても、課題だと考えており、一緒に考えていくように進めています。保護者のニーズはどうかを確認する必要があるため、PTA主体で検討する会を作ってもらい、アンケートを取っていただいたり、教育委員会で想定している課題や不安についての解消方法など、お互いに協議しながら進めているところです。11月3日にPTAが意見交換会され、意見を吸い上げたものを教育委員会に報告していただいています。来年2月のオープンスクールの際には、再度意見交換会を計画されており、教育委員会事務局にも出席を求められています。

来年度の夏休みぐらいを目途に意見がまとまれば、教育委員会に対して、分散進学解消についての要望を提出できる状況になっています。ただ、分散進学解消が前提ではなく、保護者にはフラットな状態で意見を聞いているとのこと。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和5年12月市議会の答弁内容について、ご承知おきください。

## 【日程 第5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第5 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) とよおか教育プラン2024年度実践計画策定の進め方について、教育総務課長の説明をお願いします。

### 1 教育総務課

#### (1) とよおか教育プラン2024年度実践計画策定の進め方について

《教育総務課長の説明概要》

とよおか教育プラン2024年度実践計画策定の進め方について、資料に基づき説明する。

2024年度の実践計画について、2023年度の実践計画の策定と同様の方法で進めるものである。指標及び数値の設定については、素案の段階でしっかり精査し、明記したい。

現在、12月22日を目途に、教育委員会事務局内で素案の取りまとめを行っているところである。

今後のスケジュールについて、1月中旬に関係課で素案を協議し、2月下旬に教育委員の皆さんへ素案を郵送し、ご意見をいただきたいと考えている。意見を踏まえ、事務局内で修正し、最終的には、3月の定例教育委員会で実践計画について審議・決定いただく予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1) 2023 年度卒業（園）式・2024 年度入学（園）式等日程について、学校教育課長の説明をお願いします。

## 2 学校教育課

### (1) 2023年度卒業（園）式・2024年度入学（園）式等日程について

《学校教育課長の説明概要》

2023 年度卒業（園）式・2024 年度入学（園）式等日程について、資料に基づき説明する。

2023 年度の卒業式は、中学校が3月11日（月）、小学校が3月21日（木）、幼稚園・認定こども園の卒園式は3月18日（月）に実施する。修了式は、小中学校が3月22日（金）、幼稚園・認定こども園が3月19日（火）となっている。

また、2024 年度の小中学校の入学式は、4月9日（火）、幼稚園・認定こども園の入園・進級式は4月11日（木）に実施する。始業式は、小中学校が4月8日（月）、幼稚園・認定こども園が4月10日（水）となっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

次に、(2) 生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

### (2) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 2024 年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込状況について、幼児育成課長の説明をお願いします。

### 3 幼児育成課

#### (1) 2024年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について

《幼児育成課長の説明概要》

2024年度幼稚園・保育所・認定こども園・放課後児童クラブの申込み状況について、資料に基づき説明する。

幼稚園の申込状況について、11月30日現在、申込者数は52人である。12月1日現在の在園数は69人であり、比較すると17人少なくなることになる。このまま転入等がなく推移すると、豊岡幼稚園と出石幼稚園は混合保育になる可能性があり、五荘奈佐幼稚園は合同保育の可能性が出てくる。五荘奈佐幼稚園と福住幼稚園については、4歳児で他園に併願している方がいるため、他園に行くことになると5人になる。そうなると、混合保育になる可能性もあり、幼稚園については非常に厳しい状況である。

保育所・認定こども園の入所申込状況について、教育認定児は134人、保育認定児は2,164人で、合計2,298人である。昨年度の申込者数は2,411人であり、比較すると、113人減になる。児童数に対する申込率では、85.4%になり、昨年度と比べると、1.4ポイント上昇している。児童数は減っているが、入所率は高まっている状況である。

今回、特記すべきは、0歳児について、2024年4月における予測が376人となっている。この人数は2023年10月1日現在の実数と、それ以降は母子手帳の交付状況での推計により算出しているが、400人を切り376人になる。少子化の拍車がますますかかっている状況が見てとれる。

放課後児童クラブの利用希望状況について、2024年度は、福住小学校と寺坂小学校の統合により、寺坂放課後児童クラブが廃止になる。また、現在、日高小学校の体育館を使っている日高放課後児童クラブと日高幼稚園を使っている日高第2放課後児童クラブがあるが、日高幼稚園が閉園するため、2つのクラブを統合し、日高幼稚園の園舎1つで開設する。名称も「第2」を取り、日高放課後児童クラブに変える。

利用希望者数は1,337人である。昨年度が1,414人であり、77人減になっているが、児童数の比率で見ると、上昇する可能性があると思う。児童数は詳細まで把握できていないため、正確には分からないが、利用率としては徐々に高まっている状況だと思っている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(幼児育成課長)

0歳児の数については、社会増がなければ、人数は変わらないと考えます。

(向井委員)

五荘奈佐幼稚園が私立になるのは、いつ頃でしょうか。

(幼児育成課長)

豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画では、後期の位置付けとなっており、2030年度開園予定です。

(向井委員)

五荘奈佐幼稚園は就園率が約6%で、一方、チャイルドハウスこども園は満員状態です。幼稚園の私立開園を前倒しすることはできませんか。

(幼児育成課長)

そのことも含めて、幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画の中で再度検討しないといけないと思っています。今、幼児教育・保育の無償化が始まってからの影響が如実に出ていることと、計画策定のときに推計した数値が現状とかなりずれていることがあります。少子化の進行も想定より年々早まっている状況があります。

そもそも幼稚園の利用人数がここまで減る想定ではなかったのも、そのことも含めて全体として見直す必要があると思っています。幼稚園のあり方と保育所・認定こども園のあり方も含めて、再度検討する必要があると思っています。

こども家庭庁ができ、こども大綱が定められ、それに基づいて、2024年度は市でこども計画を策定することになっています。そうした中、子ども・子育て支援事業計画もあわせて見直すことになっています。地域によってどれくらいの供給量、必要度があるのかなど、全体の幼児教育・保育のあり方をリンクさせる必要がありますので、五荘奈佐幼稚園の件は計画策定の中で考えていきたいと思っています。

(向井委員)

ぜひ考えていただきたいと思っています。昨年度、チャイルドハウスこども園の入園式に行かせていただき、満員の状態での保育を見ています。一方、五荘奈佐幼稚園ではスペースに余裕のある中、少ない利用人数で保育していることに不安を感じます。施設面だけではなく、子どもの発達面のことや、現在チャイルドハウスこども園に通う子どもたちのことも考えて、私立園の開園が前倒しできればよいと思います。

五荘奈佐幼稚園の利用希望者がますます減ってしまう気がします。

(幼児育成課長)

現状を把握した上で、教育委員会として施設的なことと子どもたちの教育のことを考えなければなりません。合同保育や混合保育についても、ある程度の集団の中で保育することが前提となります。例えば、3人だけを1つのクラスで幼児教育・保育するのかといえば、教育の観点からすると違いますので、そうしたことも踏まえて、全体としてどうするのかを考えないといけないと思います。

(向井委員)

子どもたちが進学するのが五荘小学校であり、大勢の人数の学校に行くことになりますので、そうしたことも考えていただきたいと思っています。

(教育長)

幼稚園の考え方は、地域によって差があり、一律に取り扱うことはなかなか難しいため、個別の協議になると思います。一方で、幼稚園の教育を望まれる方もいます。子どもたちの集団のあ

り方が一番大事だと思いますので、しっかりと議論しながら進めていくこととします。ご理解いただければと思います。

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

## 【日程 第6 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 こども未来部からの報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

### 1 こども支援課

#### (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数は延べ175人、実人数24人である。11月の開所日数は20日間で、平均8.8人が通っている。新規通所者は6人で、小学校児童1人と中学校生徒5人である。通所人数は最近増えている。指導員は、子どもたち一人一人の個性や事情を把握し、柔軟に対応することへの重要度がますます高まってきていると考えている。子どもたちの状況により、話しやすいタイミングを見計らい、個別に話を聞くよう対応したいと考えている。

特別支援の取組状況は、新規11件のうち、発達検査の希望が7人であった。新規11件のうち、小学1年生が6人で、2学期半ばを過ぎ、一斉指導や集団生活の中での不適應に関する相談が多くあった。継続相談も含め、特別支援学級の入級、あるいは種別変更にかかるものが4件あった。保護者の希望を基に診断を含め、今後の支援についての見解を得るために、豊岡病院や風(ふう)発達クリニックなど医療機関への情報提供も6件行っている。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が6件、3世帯6人である。家庭相談員の対応件数は633件で、訪問回数は72回である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

## 【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。

(飯田委員)

1点目は、12月12日に日高東中学校に行き、中学生と芸術文化観光専門職大学の学生との話し合いを見てきました。中学生がおとなしく、あまり意見を言わなかったのが、少し期待外れに終わりました。学生が自分のことをしっかりと発表していたことには非常に感動しました。発表の中で「最終的には自分で決定するのだ」の言葉が、大人の自覚が感じられて非常に心に残りました。また、「たくさんの大人との出会いを見つけてください」と中学生にアドバイスしていたことも印象に残っています。

子どもたちは大人と接点を持つ機会が少なくなっているため、できるだけ多くの大人と接してほしい、そうすることによって新たに感じるものがたくさんあることを伝えてくれたように思います。大変嬉しく思いました。

2点目は、日高町吹奏楽団の定期演奏会とチャリティーコンサートに行ってきました。例年、頑張っており組んでいただいておりますが、今年はさらに、豊岡地域の少年少女のダンスグループが出演し、非常に素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。こうして、いろいろなところに子どもたちが出演し、自分のやりたいことをしっかりと発表しているのを見ると、子どもたちは発表する場を求めているのだと気付かされます。とてもよいことですので、もっとそのような機会を増やしてあげたいと思いました。

3点目は、12月市議会の様子をインターネットのライブ中継で見っていました。今回も教育関係についての質問が多く、特に私は市奨学生選考委員会の委員を務めていますので、関心を持って見ていました。奨学金制度のあり方は、根本的なところから見ていかなければならないと思いました。私も奨学金を利用した経験者です。「借りて、学び、奨学金を返す。返すことによって、次の後輩たちが頑張る」、その辺りの心の動きがとても大事ではないかと思いました。支給ではないため、返還し、支援していただいたありがたさを感じることも制度の中にはあるように思います。教育の観点から、そのことも理解してもらいたいので、奨学金のあり方をしっかりと考える必要があると思います。選考委員として、これからも選考に苦勞するだろうと思いつながら一般質問を聞いていました。

(向井委員)

芸術文化観光専門職大学の学生と竹野中学校との交流会に行かせていただきました。生徒たちは小さい頃から静かに聞くよう教育を受けてきたのかもしれませんが、聞く態度がおとなしく、大学生からの問い掛けや笑いが起こるだろうと予想される場面でも生徒たちの反応はなく、静まり返っていたので、少し残念に思いました。

しかし、その後のワークショップでは、ペアを組み、積極的にコミュニケーションを取り、楽しそうに取り組んでいたのが安心しました。

(佐伯委員)

日高東中学校で芸術文化観光専門職大学の学生の交流会に行かせていただきました。中学生たちは大人の話をお聴くことには慣れていたと思いますが、自分たちと年が近い、お兄さんやお姉さんの話を聴くことはとても刺激的で、勉強になったと思います。子どもたちは、皆、興味深く4

人の学生話を聴いていたので、とてもよい経験になったと思います。

また、保護者から制服についての意見を聞きました。学校の統合が進み、義務教育学校の開設準備も進んでいるところですが、小さい学校の場合、新たに制服を作ることは、ロット数の関係があり、なかなか難しいそうです。現在、神戸市の市立中学校では標準服を導入しようとしており、生徒は学校の制服でなく、希望すれば標準服を着用できるようになるようです。そうした標準服であれば、人数が少ない学校でも対応できると思います。豊岡市でもそうしたことを検討していただければと思います。

(教育総務課参事)

情報提供として、現在、竹野地域小中一貫校開設準備委員会の学校応援部会において、PTAを中心に制服についての検討を進めていただいています。コスト面とジェンダーレスなどについて協議されています。制服に関して、既存の制服で校章だけを変えるものにすれば、節約が可能であるといったことも協議されています。検討状況については他の学校にも報告しますし、最近では市内の中学校でも制服について協議されている学校がたくさんあります。そうした学校の状況も確認しながら、情報共有していきたいと思います。

(升田委員)

11月19日に出石町青少年健全育成推進大会に行かせていただきました。弘道小学校の児童や出石中学校の生徒、出石高校の生徒は「私たちはこうしたことを頑張ってきた」ことを実践発表してくれました。小学生は先生の指導の下、映っている資料を一生懸命読んでいましたが、学年が上がるごとに、子どもたちがしっかりと成長していることを実感しました。出石地域において、高校生が来て、いろいろな話をしてくれたことは非常によかったと思います。

出石高校の女子生徒2人は、修学旅行や文化祭での演劇について話しました。自分たちで脚本を書いて演じ、演劇の内容も面白かったですし、約5分間パソコンが作動しないハプニングがありながら、その5分間を上手に2人で乗り切ったのです。会場には約100人の聴衆がいながらも、上手に発表していたので、どうすればそうした子どもが育つのかなと感心して見ていました。

そのあと、日高東中学校と芸術文化観光専門職大学の学生との交流会に行かせていただきました。中学2年生の生徒たちは、学生話を一生懸命聞いていたのでよかったのですが、話の内容からして、聞くのは2年生でよかったのかなとふと思いました。中学3年生のほうが学生話を身近に感じられてよかったのではと思いました。学生たちは、それぞれ特徴を持った話をしてくれたので、私もすごいと思って聞いていました。話のあとにワークショップがなかったので、余計、生徒たちは受け身になってしまったのかなと思います。最初にいろいろとリラックスできるようにしてくれていたのですが、少し温まりにくかった部分があったため、聞く側は中学3年生のほうがよかったのかなと思いました。

## 【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

それでは、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

## 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第10回定例教育委員会会議は、1月25日（木）午後1時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催する。

## 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

（教育長）

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、1月25日（木）午後1時30分から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これをもちまして、第9回教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午前11時15分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2023年12月21日

教育長

委員